

人口増対策について

問 結婚で市外から相手を連れてきた場合、人口を1人以上ふやす可能性があると点から、人口増に貢献したということ、お祝い金を贈るというのはどうか、考えを伺う。

答 人口増という視点だけを見た場合、提案も理解できますが、市外の方との結婚を祝い金で奨励し、市民同士の結婚との差を設けるとするのは市民の理解は得られないと考えます。このことから、県内では他市町村に先駆けて実施している出会い応援事業を着実に進めることにより、結婚を支援してまいります。

共動によるまちづくりについて

問 市が掲げる「共動」の理念は、全てのことを「自分ごと」として捉えてもらえるよう、市民の意識を啓発するためのものだと認識しているが、啓発には時間がかかると考える。そこで、市民ボランティア・イベントなどの行事への参加や協力などによ

り、行政に協力した場合に、ポイントがもらえるといった「市民ポイント」のようなものを導入し、「共動」に当てはまることをポイント制にし、貯まった際には、ふるさと納税のように何かと交換、または何かに還元できるような仕組み作りができないか伺う。

答 本市では、様々な分野で市民による主体的な活動が展開されており、共動の理念は相当程度浸透しているものと認識しております。これからの人口減少社会において、地域課題を解決していくためには、市民を初め、多様な主体との共動が必要になってまいります。これを進める当たっては、ポイント制度を導入することについても共動の趣旨から逸脱しないような手法で検討してまいります。

市民ポイント導入事例

奈良市(奈良県)
稲城市(東京都)
武蔵野市(東京都)
横須賀市(神奈川県)
三浦市(神奈川県)
鶴ヶ島市(埼玉県)
龍ヶ崎市(茨城県)
笠間市(茨城県)
※実際の事業名称は実施する市ごとに異なります。

質問した項目

- よつぎ小との都市農村交流事業について
- 人口増対策について
- 共動によるまちづくりについて
- 観光について



金澤 大輔 議員
(鹿真会・公明)

十和田八幡平駅伝について

問 女子チームは4チーム参加したが、次回はさらにチーム数をふやすことは検討するのか伺う。

答 いずれのチームからもコースや区間設定等に高い評価をいただいておりますので、来年度も女子の部を継続し、多数のチームから参加いただけるよう周知してまいります。

小、中学校の統廃合やスクールバスの利用等について

問 スクールバスを利用する児童生徒の基準(通学距離)の拡充を検討できないか伺う。

答 通学費の負担軽減については、文部科学省の基準により完全無料、また、市独自に基準を定め、一定の負担をいただいた上で、差額の支援を行っている上です。市では徒歩による登下校を推奨していることから、これまで同様の基準を適用してまいりたいと考えております。

リンゴや北限の桃など果樹について

問 減収が見込まれた場合の対応を伺う。

答 これまでは果樹共済制度による減収補填

のみでしたが、平成31年度から収入保険制度の導入が予定されており、災害だけでなく価格低下による収入減少も対象となり、対象作物も幅広いため重要な経営安定の柱と期待しております。

地域医療体制の充実について

問 8月末に大学側と大館市立総合病院の協議が予定されていたが、現段階での状況を伺う。

答 現在同病院に対し弘前大学から4名の常勤医が派遣されておりますが、新たに秋田大学から1名派遣されることになっております。また、かづの厚生病院の妊婦健診・婦人科検診・婦人科の外来診療については当面週4日体制で行う予定と伺っております。

問 子育て世代包括支援窓口が開設予定だが、業務内容について伺う。

答 「全ての妊婦に対する支援プランの策定」を10月から開始することとしており、妊娠・出産期から子育て期まで切れ目なく妊婦一人一人に寄り添い不安の軽減と必要な支援を行ってまいります。

成田 哲男 議員
(清風会)

※一般質問時点の所属会派を表記しています。成田議員は、平成30年9月20日に誠心会に加入しています。



質問した項目

- 十和田八幡平駅伝について
- 小、中学校の統廃合やスクールバスの利用等について
- リンゴや北限の桃など果樹について
- 障害者雇用について
- 地方医療体制の充実について
- 地域公共交通網形成計画について